

よっ葉だより

2021年
5月24日号
No.652

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
群馬県 861
茨城県 862



2021年度 よっ葉生協活動テーマ

逢えなくても繋がってるよ! よっ葉のわ ~つなごう!心のきずな~

2021年度の活動テーマが決定しました。委員会に所属する組合員から案を出してもらいました。「よっ葉のわ」の「わ」には、仲間を意味する「輪」とともに、平和の「和」の意味が込められています。

コロナ禍で農業体験やよっ葉カフェなどの組合員活動が思うようにできない状況が続いています。そして、次々と出現する変異株が猛威を振るう今、コロナ禍の終息はまだまだ「ず」と先だと、覚悟をしなければならぬ様子です。

「安心・安全な食べ物を手に入れる」という共通の願いを持つ組合員の出資によって成り立つよっ葉生協同組合で、出資と商品の購入以外の組合員活動は何のためにあるのでしょうか? それは「組合員同士のつながりと対話が一人一人の気づきと学びと力になり、よっ葉生協の進路を定め、機動力となり、社会をより良く変えていく力になる」ことにあると考えます。

対面で交流したり共に体験することで得られるものは大きいですが、感染によって「安全・安心な商品の供給」に支障をきたしたりコロナ禍を助長する様なことは絶対に予防しなければ

なりません。組合員活動ではまだまだ「逢えない」判断が続きそうです。

けれども、繋がり対話する方法は対面だけに限りません。コロナ禍でオンライン会議が一気に普及しました。よっ葉生協でも、組合員さんの中にも複数おられる電磁波過敏症の方への配慮や、誰もが受ける電磁波による健康被害への対応を考えながら、組合員活動への導入を図ります。そして、このよっ葉だよりも、つながりと対話の場です。「紙面上の組合員活動」として、多くの組合員さんに読んでもらって気軽に参加してもらえる紙面づくりを工夫し、消費者として考える機会にしていきたいと思ひます。

「誰一人とり残さない社会」をめざして、心のきずなをつないで進みましょう!

組合員活動常任理事 堀



議案書の表紙から

廃食用油燃料車が終了しました

小山市と共同事業「菜の花バイオプロジェクト」を進めてきましたが、市が事業を終了することになりました。小山市ではコロナ禍で財政ひっ迫のため、全事業の見直しをしています。よつ葉生協では、商品を組合員へお届けする6台にBDF（バイオ・ディーゼル・フューエル）を使用し、「天ぷら油で走行中」のステッカーを貼り、小山地区を回っておりました。

休耕田などで菜種を栽培し、圧搾方法で菜種油を製造し、廃食用油で自動車を走らせることで食の地産地消とエネルギーの地産地消をすすめる地域循環型の環境問題の取り組みでした。フードマイレージ、オイルマイレージのCO₂削減に大きく貢献しました。

よつ葉生協はプロジェクト設立時から「菜たね油」の販売と配送車の燃料としてBDFを使用しました。一時、CO₂削減のため、他の生協もBDF使用車を取り入れましたが、エンジントラブルの不安で継続できませんでした。小山市でも、ごみ収集車、市所有車、農業用コンバイン等が主でした。しかし新車に移行する際に、エンジントラブルを懸念し、石油燃料使用車に戻すことが多くなってきました。よつ葉生協でも1車両からスタートし、6台まで増やしましたが、絶えずエンジントラブルのリスクを抱えていました。

2011.3.11で石油プラントが被害を受け、ガソリンスタンドに何時間も並んだことは忘れないでしょう。よつ葉生協でも土、日に朝早く配送員が並び、月曜日からの配送に備えました。BDF使用車は小山周辺を女性ドライバーが運転していましたが、いつもと同じようにBDFを入れることができました。



災害にも強く、環境にもやさしいBDFの中止は残念なことです。単独で精製機を入れ、設置場所、人の手配も含め、エンジントラブルのリスクを抱えての運営は厳しいと判断しました。

BDFから石油燃料に切り替えるには、多くの部品の交換や費用、日数がかかるため、年度末で終了することとしました。環境課題の後退になりますが、14年にわたり地域行政と共同事業を通して、他業種の皆さんと一緒に地域貢献に寄与できました。

「小山産菜たね油」は今後も生産を続け、「くらら」で販売します。ヴァージンオイルは小山市障がい者施設「そよ風」で搾っています。ご利用をお願いします。（会長 富居）

6月2週でご案内

<p>小山市内の農家が育てたキザキノナタネを使用したなたね油です。圧搾法で搾りました。</p> <p>567 埼玉県・おやま菜の花バイオプロジェクト協議会 小山産なたね油 270g 510円(税込 551円) [要365日]</p>	<p>搾ったままの非加熱油。昔懐かしい青臭さの残るとも貴重な油です。圧搾法で搾りました。</p> <p>568 栃木県・おやま菜の花バイオプロジェクト協議会 小山産なたね油 ヴァージンオイル 非加熱 270g 584円(税込 631円) [要365日]</p>
--	--

商品評価委員会では、週1回の活動で新商品の試食や評価をしています。6月2週くらら商品の中からピックアップして紹介します。くららに載っている保存食作り、調味料、和菓子の特集も、お見逃しなく！



新商品 489 玄米焼酎35度(紙パック) 1800ml 鹿児島県・小正醸造

原材料 玄米(国産米) 米麹(国産米)

今年は、ランクアップした梅酒にいかがでしょうか？

国産玄米が原料のコクのある本格焼酎。果実酒の他にも野草やピワの葉などのエキス作りにもおすすめだそうです。私は庭に生えているドクダミで挑戦しようと思います。



651 あずきでっち1本(300g) 冷凍 秋田県・TAKAYA OYAMAFOOD

原材料 あずき(北海道産) もち米、白ザラメ、砂糖

秋田県でお祝い事などに作られた郷土料理。ようかんのように切っていただきます。味はおはぎに近いけどつぶつぶ感はなく、もちりとした程よい食感が新しい。甘すぎず素朴で美味しかったです。余計な添加物もないシンプルな原材料なのもおすすめ。あんこ好きさんにはぜひお試しいただきたいです。（商評委員会担当 鶴時）



626 海の精 240g 東京都・海の精(ムソー)

原材料 海水(伊豆大島)

伊豆大島のきれいな海水 100%をそのまま結晶化した純国産の伝統塩です。栄養成分表示(100g中)を他と比べてみればわかると思うのですが、海の精にはマグネシウム 700mgカルシウム 400mg、カリウム 240mgとミネラルがバランスよく含まれるので、まろやかな旨みを感じます。おうち仕事の梅干し、塩こうじ作りなどに使うと一味も二味も変わります！今回は大特価なのでお見逃しなく！

ふみさんの 日々のかんたん! おやつ作り!!

発酵食品をおやつにも!

みそ味おやつ2種



みそクッキー

みそ蒸しパン

<材料>

- A (薄力粉 220g, 全粒粉 60g) ← *無印時は薄力粉だけ280gでもOK!!
- B (みそ 36g, なたね油 65g, さとう 60g, 豆乳 40g)

<材料>

- A (薄力粉 150g, ベーキングパウダー 小計1/2)
- B (米花甘酒 180g, みそ 24g, 油 20g, 豆乳 40g)



<作り方>

- A, Bを別のボウルでそれぞれよく混ぜる
- A, Bを合わせてサックリ混ぜる
- 層をくさすように、生地を撻ねてカットして3~4個くり返す
- ビニール袋の中で厚さ7mm位にのばし、包丁でカットして170℃のオーブンで20分焼く

<作り方>

- A, Bを別のボウルに入れそれぞれ泡立て器でよく混ぜる
- A, Bを合わせて混ぜる
- カップに②の生地を入れ、蒸気の上から蒸器で10~15分蒸す

<那須地区 薄井史子>

子どもの居場所「おひさま」報告

子どもの居場所「おひさま」は、貧困や一人親などの困難を抱える家庭と子どもたちを支援するために、NPO 法人子どもの育ちを支える会さくらネット小山が小山市の委託を受けて運営しています。よつ葉生協は地域貢献の一環として、定期的な食材支援とボランティアで協力しています。活動の様子をお伝えします。

※おひさまの会（保護者を対象とした昼食会で、相談会の要素もあります。）

日時：2021年4月21日（水）11:00~13:00

メニュー：ピザ、ピザトースト（コーン、マッシュルーム、ツナ、ウインナー、ブロッコリー、アスパラガス、ピーマン、トマト、とろけるチーズ、新玉ねぎ、パイン缶）、サラダ、いちご

参加者：保護者2名、子ども（10代）1名、スタッフ3名+よつ葉ボランティア1名



ピザ玉を解凍している間に、同じトッピングでピザトーストを作ってもらいました。パンにピザソースを塗り、それぞれに好きな具材をのせました。久しぶりに参加した保護者の方は、うちの子は野菜を食べないからとパインとウインナーのトッピング。10代の子は具材ごとに分けてのせていました。

ピザ玉が丁度よい硬さになり 18 cm程度に伸ばして、初めにホットプレートで焼いてみたら、表示の時間でうまく焼きあがらないため、作り方通りフライパンで焼くとふっくらおいしそうに焼きました。別の保護者の方は、作っているだけでお腹がいっぱいになったとサラダといちごだけ試食しました。子供の成長だけでなく、保護者の方の落ち着いた様子で過ごしている様子が嬉しいと感じられました。

（よつ葉生協ボランティア 山本緑）

オンライン Zoom 交流会を開きました

4月28日(水)、組合員さん向けのオンライン交流会を開催しました。昨年の1月に日本で最初の新型コロナウイルスの感染が確認されてから、組合員さんやご家族を守る為にも委員会活動、よつ葉カフェなど交流を図る行事を自粛しています。それでもやはり交流の場は必要な事だと考え、今回オンライン Zoom 交流会を行う運びとなりました。今回の参加者は17人でした。

簡単な自己紹介から始まり、グループを3つに分け、各自のお気に入りの商品や「くらら」を手元に用意いただき、話をしました。知らなかった商品の美味しい頂き方やアイデアなど盛り沢山で、普段くららを見て買うだけでは気付かなかった事を知ることができました。

冷凍のカキはそのままグラタンに使うとカキの甘味たっぷりです。さらに美味しい一品になる事、バラ凍結親鶏ひき肉はよつ葉の卵を産んでくれたわたなべ養鶏所の鶏なので安心安全安くて美味しい!と嬉しいがっぱいの商品である事など。「くらら」にも説明で載っていますので、読んでみて下さい。

新たな商品の魅力を知る良い機会になったのではないかと思います。また今後、開催して欲しい事などを話しました。オンラインであっても、和気あいあいとした雰囲気でお話弾みました。

【みなさんのおすすめ商品の一部】

- ・和気ふぁーむのお米 ・よつ葉の調味料
- ・オリーブハーブソルト ・食彩酢 ・カキ、カキフライ
- ・納豆 (JA やさと3連紙パック、おらが納豆など)
- ・親鶏ひき肉 バラ凍結 ・重茂の肉厚わかめ
- ・さば缶詰 ・登録やさいセット

やさと農業体験①ご報告



4月26日に、朝日里山学校(茨城県石岡市)でJA やさと有機栽培部会の研修生とJA やさと職員、よつ葉生協の理事で、トウモロコシとかぼちゃの苗を植えました。栃木・茨城県で行う、組合員さんを募集する農業体験は自粛していますが、農業体験が開催できるようになった時のための準備作業です。里山学校の柴山さんのご指導のもと、新規就農をめざす宮川さん、渡辺さん両ご夫婦も、出荷や農作業の合間の時間を取って参加してくれました。

今回植えた野菜は、例年と同じく、昨年採ったタネを柴山さんが苗に仕立ててくれています。くららに載るJA やさと有機野菜と同じように、もちろん農薬不使用です。農業体験の募集ができる状況になりましたら、よつ葉だよりでお知らせします。(理事 三輪)



ご参加くださいましたみなさま、ありがとうございました。今後もオンラインでの交流会を開催していきたいと思っております。(理事 渡辺)

【今後開催して欲しい事】

- ・SDGs、遺伝子組換え、ゲノム編集の事を教えて欲しい
- ・よつ葉の商品を詳しく知りたい
- ・加工食品のメーカーさんのこだわりなど聞きたい
- ・料理教室

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙をお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告 (5月2週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位:円)

栃木コロナ支えあい基金 (860番)	6,000
群馬コロナウイルス対策募金 (861番)	5,600
茨城誰かのために募金 (862番)	2,500
合計	14,100

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。
一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (5月2週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	10,900
震災孤児を支援する募金 (910番)	48,400
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	14,700
合計	74,000

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品】内の【復興支援募金】をクリック。
一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp



ホームページ



Facebook



Instagram